

## 掲載論文等一覧

### 柄谷 友香

- 柄谷友香, 林 春男: 地方自治体における財政分析を用いた復興過程把握手法の提案, 地域安全学会論文集, 2002, No.4, pp.315-324
- 河田恵昭, 上田征香, 柄谷友香: 東海豪雨災害を事例とした災害廃棄物処理に対する住民の意識調査, 河川技術論文集, 土木学会, 2002, Vol.8, CD-ROM
- 柄谷友香, 越村俊一, 首藤伸夫: 持続可能な津波防災教育に向けた知識の体系化に関する研究, 土木学会地震工学論文集, 2003, Vol.27, CD-ROM
- 柄谷友香, 越村俊一, 首藤伸夫: 津波常襲地域における持続可能な防災教育に向けた防災知識の体系化に関する研究 - 気仙沼市の高校を対象とした津波防災講座を事例として -, 海岸工学論文集, 土木学会, 2003, Vol.50, pp.1331-1335
- Karatani, Y., Hayashi, H. and Kawata, Y.: Development of Recovery Index (RI) based on Kobe Statistics to Monitor the Recovery from the 1995 Kobe Earthquake, Proceedings of Disaster Resistant California, The Governor ' s Office of Emergency Services and The Collaborative for Disaster Mitigation, 2003, Vol.4, CD-ROM

### 越村俊一

- 越村俊一: 陸棚斜面に入射した津波の多重反射, 土木学会論文集, 2002, No.705/II-59, pp.151-160
- 越村俊一, E. Okal, L. Dengler, S. Araya, J. Borrero, B. Gomer, G. Laos, D. Olcese, M. Ortiz, M. Swenson, V. Titov, F. Vegas: 2001年ペルー南部地震津波の災害調査, 海岸工学論文集, 土木学会, 2002, Vol.49, pp.1461-1465
- 越村俊一, H. O. Mofjeld, 片田敏孝, 河田恵昭: 津波の市街地氾濫による人的被害に関する-評価法米国シアトル・ウォーターフロントにおけるケーススタディ, 海岸工学論文集, 土木学会, 2002, Vol.49, pp.1441-1445
- Koshimura, S., H. O. Mofjeld, F. I. Gonzalez, A. L. Moore: Modeling the 1100 bp paleotsunami in Puget Sound, Washington, Geophysical Research Letters, AGU, 2002, Vol.29, No.20, CD-ROM
- Okal, A., Emile, L., Dengler, S. Araya, J. Borrero, B. Gomer, S. Koshimura, G. Laos, D. Olcese, M. Ortiz, M. Swenson, V. Titov, F. Vegas.: Field Survey of the Camana, Peru Tsunami of June 23, 2001, Seismological Research Letters, SSA, 2002,
- 越村俊一, Harold O. Mofjeld: 米国 Washington 州西部 Puget Sound における歴史津波の検証, 月刊地球歴史・先史津波と津波堆積物, 2002, pp.704-709
- 越村俊一, 片田敏孝, 桑沢敬行, 石橋晃陸: 津波による人的被害軽減のための避難戦略の評価手法に関する研究, 海岸工学論文集, 土木学会, 2003, Vol.50, pp.1336-1340
- 越村俊一, 片田敏孝: 災害情報伝達と住民避難に着目した津波防災戦略の評価手法, 土木学会地震工学論文集, 土木学会, 2003, Vol.27, CD-ROM
- 越村俊一, 柄谷友香, 首藤伸夫: 秋田県能代市における防災シンポジウム参加者の防災意識調査, 地域安全学会梗概集, 2003, No.13, pp.197-200
- 越村俊一: 津波の数値解析技術とその応用, 非破壊検査, 2003, Vol.52, pp.344-348
- 越村俊一: 津波災害総合シミュレータの開発, 第5回土木学会地震災害マネジメントセミナー: GIS を利用した地震防災情報管理の最前線, 2004, pp.51-57

## **越山 健治**

- 越山健治, 中林一樹: 1999年トルココジャエリ地震における住宅復興計画に関する考察・日本・トルコ・台湾, 震災復興過程の国際比較研究 その2 -, 日本建築学会学術講演梗概集, 2002, pp.225-226
- 越山健治: 阪神・淡路大震災後の災害復興公営住宅供給の現状, 日本都市計画学会関西支部研究発表会講演概要集, 2003, pp.21-24
- 越山健治: 災害復興公営住宅の立地条件に関する分析, 日本建築学会学術講演梗概集, 2003, pp.447-448
- 越山健治, 立木茂雄, 小林郁雄, 室崎益輝, 菅磨志保, 福留邦洋, 柄谷友香: 災害復興公営住宅居住者の復興感分析-2002年兵庫県災害復興公営住宅団地コミュニティ調査報告-, 地域安全学会論文集, 2003, No.3, pp.237-244
- 越山健治, 室崎益輝, 北後明彦: 1999年トルコ地震における住宅復興過程と現状, 地域安全学会梗概集, 2003, No.13, pp.55-56
- 越山健治, 室崎益輝: 国内外の災害復興計画における公的住宅供給の役割に関する研究, 都市住宅学, 都市住宅学会, 2003, Vol. 43, pp.150-155

## **菅 磨志保**

- 菅磨志保: ボランティアから市民活動、NPOへ - 社会サービスを担う新たな主体として -, 浦野正樹編著『社会参加とボランティア』(近刊), 八千代出版, 2002
- 菅磨志保: 災害救援とボランティア - 新たな災害救援主体の可能性と課題 -, 日本都市学会年報, 2003, Vol.36, pp.38-45
- 鈴木勇, 菅磨志保, 渥美公秀: 日本における災害ボランティアの動向 - 阪神・淡路大震災を契機として -, 実験社会心理学研究, 実験社会心理学会, 2003, Vol.42, No.2, pp.166-186
- 菅磨志保, 立木茂雄, 室崎益輝, 小林郁雄, 越山健治, 福留邦洋, 柄谷友香: 災害復興公営住宅団地におけるコミュニティ運営と居住者の復興感 2002年兵庫県災害復興公営住宅コミュニティ調査報告, 地域安全学会論文集, 2003, No.5, pp.245-250

## **永松 伸吾**

- 永松伸吾: 開発と災害脆弱性, 永松伸吾『途上国における自然災害の事前予防ならびに復興に対する経済的支援のあり方』平成13年度開発経済学研究派遣制度研究報告書, 財務省財務総合政策研究所, 2002, Sec.2, pp.159-192
- Nagamatsu, S.: How Much was Donated after 1995 Kobe Earthquake?, Proceedings on Seventh U. S. National Conference on Earthquake Engineering, Earthquake Engineering Research Institute, 2002, (CD-ROM),
- 永松伸吾: 耐震補強推進策に関する経済学の視点, 地域安全学会梗概集, 2002, No.12, pp.197-200
- 赤井伸郎, 永松伸吾: 地方財政制度における災害保険機能とそのあり方について - 阪神・淡路大震災の財政措置の実態と性質, 商大論集, 2003, Vol.54, No.5, pp.619-639
- 永松伸吾, 林敏彦: 間接被害概念を用いた復興政策評価指標の開発, 地域安全学会梗概集, 2003, No.13, pp.89-90
- 永松伸吾, 秦康範: 住宅被害の軽減策の推進と事後補償の充実 ~ 両立可能な制度の提案 ~, 地域安全学会論文集, 2003, No.5, pp.353-362
- 永松伸吾: 地震対策・包括的防災基金の設立を, 「私の視点」, 朝日新聞, 2004, 1月13日,

## **秦 康範**

- 秦康範, 目黒公郎:2000年東海豪雨における電力供給量の変動と浸水被害の関係,土木学会年次学術講演概要集,2002,第57回,pp.621-622
- 秦康範,川北潤,目黒公郎,山崎文雄,片山恒雄:発生時刻と継続時間を考慮した都市停電の影響度評価,土木学会論文集,2002,I-61,pp107-117
- 秦康範, 目黒公郎: 地震直後からの被害把握を目的とした電力需要のミクロ評価の試み, 地域安全学会論文集,2002, No.4, pp.79-86
- 秦康範, 目黒公郎: 電力供給量を利用した被災地のリアルタイム復旧・復興モニタリング, 第11回日本地震工学シンポジウム, 日本地震工学会,2002, Vol.11, pp.2335-2338
- 秦康範, 河田恵昭, 坂本朗一: 災害対応演習システムの開発に向けて, 土木学会年次学術講演概要集, 2003, Vol.58/I-340, pp.95-96
- 秦康範, 目黒公郎: 電力供給量の変動を利用した地震直後からの被害把握手法の構築に向けた試み, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 2003, pp.691-692
- 秦康範, 柄谷友香, 越村俊一: 人と防災未来センターの災害対策専門研修における図上演習について, 消防研修,2003, No.74, pp.89-99
- 長谷川和正, 秦康範, 坂本朗一: 地方自治体職員向けワークショップ型防災演習, 地域安全学会梗概集, 2003, No.13, pp.151-154
- 秦康範, 河田恵昭, 坂本朗一: 災害対応演習システムの開発に向けたシナリオ構築, 土木学会地震工学論文集,2003, Vol.27, CD-ROM
- 秦康範: 電力供給量情報を利用した災害モニタリングシステム, 地震災害マネジメントセミナー, 土木学会,2004, Vol.5, pp.45-50

## **福留 邦洋**

- 福留邦洋・立木茂雄・室崎益輝・小林郁雄・越山健治・菅磨志保・柄谷友香: 居住地移動からみた復興公営住宅入居者の特性 2002年兵庫県災害復興公営住宅団地コミュニティ調査報告, 地域安全学会論文集,2003, No.5, pp.293-298